

IF 遅延装置

IFD-300



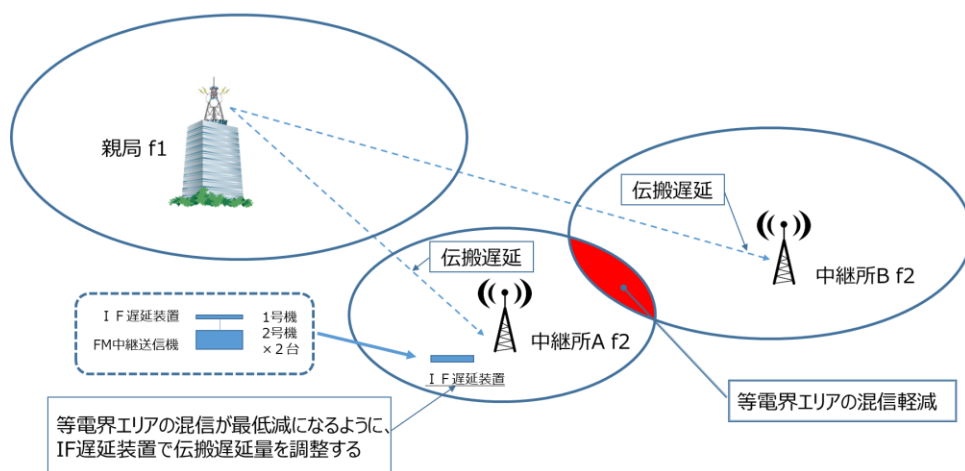
概要

- 本装置は、中間周波数（10.7MHz）を任意に遅延量を設定できる装置です。
- IF遅延量は、前面パネルのスイッチ設定により可変できます。

特徴

- デジタル信号処理により遅延量を設定しているため長期に亘り安定した性能を維持します。

「IF遅延装置」導入によるFM放送同一周波数等電界エリアの混信軽減のイメージ



定格・性能

IF 周波数	10.7MHz	
IF 遅延量	1～399 μsec（1μsecステップ）	
入力／出力インピーダンス	50Ω	
入力／出力レベル	0dBm	
電源電圧	AC 100V±10%（50Hz/60Hz）	
使用環境	温度	-10℃～45℃（性能保証範囲）
	湿度	45%～80%（結露なきこと）
外形寸法	480 (W) × 300 (D) × 49 (H)mm（突起物含まず）	
質量	5kg以下	

